

平成30年度 堀あさひこども園 園内研修 自己評価表

堀あさひこども園では、クラスごとに「朝の会」と「主活動」の園内公開保育による園内研修を行っております。また今年度は職員が外部研修を受講した伝達講習も実施いたしました。その都度行われる反省会では参観した保育士が5段階評価をして、その保育について振り返りをしながら課題を見つけ次につなげています。各段階の平均を一覧にまとめました。

「朝の会」 ※「園歌」を必ず歌う

A：よくできている B：ほぼできている

C：どちらともいえない D：努力が必要

E：とても努力が必要

評価項目	A	B	C	D	E
1. 立ったり座ったりした時の姿勢（椅子の座り方）は正しいか。話を聞く際の体の向きは適切か		○			
2. 複数担任のクラス職員の配置は、適切でかつ臨機応変に対応できているか。	○				
3. 出席呼名の仕方、返事の仕方は統一されているか。	○				
4. 「月の歌」を積極的に取り入れ、姿勢や声の出し方に注意し、正しく歌うことができているか。		○			
5. 季節や年齢の発達に応じた歌をともに歌い、歌う楽しさを伝えているか。 (未満児・以上児)	○				
6. 園歌の歌詞を覚え、愛情を持って歌っているか（以上児） 園歌のメロディーを覚え、親しんで歌っているか（未満児）	○				
7. 正しい発声トレーニングを指導しているか。（以上児）		○			
8. 担任から「社会・自然・季節」に関心を持たせるような話を年齢に応じて盛り込んでいるか。		○			
9. 自分の気持ちを受け止めてもらいながら、保育者や友だちと信頼関係が築けるような雰囲気朝の会であったか。		○			

◇ 振り返りと今後の課題

- ・ 3歳未満児のクラスであっても日々の積み重ねの指導により、正しい姿勢を心がけながら歌ったり話を聞いたりすることができるようになってきている。
- ・ 実際に自然物を見せながらの年齢に応じた季節の話題や、社会やニュースに目を向けた話題等を子ども達にわかりやすく話すなどの創意工夫が見られた。
- ・ ピアノ伴奏については実力において個人差がみられ、引き続きの課題となった。

「主活動」 ※各年齢に応じた遊び

評価項目	A	B	C	D	E
1. 椅子に座った姿勢、話を聞く際の体の向きは適切か。	○				
2. 主活動の導入は、スムーズに全体に伝わっているか。活動に興味を持てたか。		○			
3. 複数担任のクラス職員の配置は、適切でかつ臨機応変か。	○				
4. 活動に取り組むにあたってもれなく準備されているか。		○			
5. 活動中、年齢に応じての声掛け・働きかけは適切で個々から全体にも目を向けて行っているか。		○			
6. 用具の設置は適切で、安全の配慮がされているか。活動の変化に応じ臨機応変に工夫しているか。		○			
7. 活動をやり遂げた個々への言葉がけは適切か。主活動の最後のまとめはできているか。		○			
8. 子ども達は意欲を持って活動に取り組み、創意工夫をしながら遊びを継続的に展開できているか。	○				
9. 導入・準備・環境など、今日の主活動に対して担任のねらいが達成できているか。		○			

◇ 振り返りと今後の課題

- ・ 各クラスとも年齢に応じた主活動を『活動の展開』を念頭に置いて組み立てていった。活動にストーリー性が感じられ遊びに意欲的な子ども達の姿が見られたのが印象的であった。
- ・ ゲームやリズム遊び、小麦粉粘土といった様々な活動に取り組み、年齢は違っても自分たちの保育に取り入れられるヒントを見つけることができた。
- ・ 予期せぬ子ども達の動きに対応できるよう入念な準備の必要性を感じた。

「伝達講習」 カラーガード・鍵盤ハーモニカ

◇ 振り返りと今後の課題

- ・ 3歳以上児と未満児では活動の内容に違いがあるので、誰もが4,5歳児が取り組んでいる活動に触れる機会の重要性を感じた。
- ・ 職員のスキルアップに繋がるよい研修となった。伝達することで、受講した職員の復習となりより実践しやすくなった。